



にこにこ新聞

Vol.53
2014年
12月25日号

発行人：篠塚恭一
編集：SPI管理部



こんにちは。
あ・える倶楽部
の篠塚千弘です。
私たちは今まで

目に見えることばかりを信じて、見えないものは信じないという傾向にありましたが、インターネット（カタチの無いもの）で、コミュニケーションも仕事も出来るように進化してきている今、ますます目に見えないものの価値が見直されていると思います。

「気持ちの温かくなるサービス」も目に見えないもののひとつと考えると、トラベルヘルパーサービスも然りです。

私たちが目指すのは、トラベルヘルパーなんて必要ない世の中です。

トラベルヘルパースキルもサービスもあたりまえになっていて、「そんなサービス昔あったよね」と言いあう、そんな日が一日も早く来るように、今は、トラベルヘルパー

をご利用下さる皆様お一人一人のご旅行や外出を心を込めてお手伝いすることだと思えます。

今年もいろんなことがありましたが、それでも今までよりも一番多くの方にトラベルヘルパーと一緒に笑顔になっていただけました。

まだまだトラベルヘルパーを知らない方のほうが多いですが、「千里の道も一歩から」の気持ちを忘れず、この一歩を歩む人が一人でも増えたら広がりも可能性も大きくなることを支えに、あ・える倶楽部お客様とトラベルヘルパーと一緒に2015年に繋げていきたいと思えます。

トラベルヘルパーと介護旅行

ご夫婦で 沖縄旅行

奥様が大好きで何度も行ったことがある沖縄に、ご主人が行きたが

っているのを連れて行きたいということで、今回のご旅行となりました。

ご自宅から伊丹空港への送迎及び 伊丹空港からご自宅への送迎を担当するのは黒須トラベルヘルパー。那覇空港へ首里城公園へマリOTTホテルオキナワまでを國吉トラベルヘルパー。そしてメインの沖縄観光の2日間を山内トラベルヘルパーがご同行させていただきました。

ご主人は旅行の準備が気になって前夜遅くまで起きていたとのこと、かなり楽しみにしていたご様子。ご夫婦で楽しい旅にしたいとの思いが強く感じられました。

那覇空港へ到着した後は、まずは首里城へ。写真撮影の際はいつも奥様がモデルだと嬉しそうに話されていました。

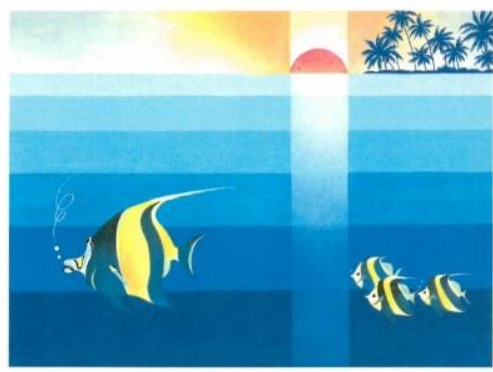


帰る頃には、「もう帰るのかあ」と、ご主人は少し物足りなさそう。偶然見かけたやしの木で作ったサンシンの音が良く気に入られて、ひとつご購入。もう一つ購入しようとして、奥様に止められました。素敵なご夫婦の沖縄旅行となりました。

●山内トラベルヘルパーのスマイルレポート

短い期間でしたが、親子の様な感じでした。後半は疲れた様子が伺え、体調面が気になるころでした。

後日、デザイナーであるご主人様からお礼の絵葉書をいただきました。素敵な絵を、ありがとうございます。



ほんわか家族の秋の伊東

昨年十月から約一年ぶりとなる、ご夫婦と息子さんと伊東への家族旅行です。

ご夫婦にそれぞれトラベルヘルパーが付き添い、夜には地元・トラベルヘルパーセンター東伊豆の藤江トラベルヘルパーも加わり、入浴介助のお手伝いをさせていただきました。



●坂本トラベルヘルパーのスマイルレポート（写真一番左）
今回で三回ご旅行に一緒させていただきました。

ゆっくり温泉に入っていたいただき、シャボテン公園ではリス猿がお客様の膝に乗ってくる楽しいハプニングもあり、初めていらした城ヶ崎海岸もお天気に恵まれ、美しい景色を味わっていただくことができました。



息子様とご主人様の優しく温かい笑顔はご一緒させていただく私達まで幸せな気持ちにさせていただきました。優しく守られていらっしやる奥様はお幸せですね。今回もほっこり温かい気持ちにさせていただきました。ありがとうございます。

●古島トラベルヘルパーのスマイルレポート（写真一番右）
今回トラベルヘルパーとして初仕事だったので、緊張もありましたがとても楽しみでした。

お客様のあ・える倶楽部でのご旅行は今回が3回目でしたが、ご主人は今回車椅子介助で初めてトラベルヘルパーが付くということで、今までのご旅行と変わらず楽しんで頂きたいと思っていました。

普段は奥様が使用している車椅子での移動だったのでご主人には少し小さいような感じでしたが、乗っていて怖くないか、痛い所はないか、疲れていないか…と常に声かけをして体調の変化に気をつけていました。ご主人は声かけにいつも笑顔で答えて下さり、見ていて心が温まるご家族だなあと感じ、今回のご旅行にご一緒出来てこちらが幸せな気持ちにさせて頂きました。

ご夫婦で二十年ぶりの京都

京都旅行は約二十年ぶりだと言うご夫婦。京都の紅葉や町並みが見たい、奥様は和小物などのお買いものがしたいとのご希望でした。奥様は京都に着いた途端に喜びのあまり涙を流され、「嬉しい」と何度も繰り返されていました。



夜にはご希望だった京懐石も堪能。品数も多く「お腹がいっぱいだけど食べます」とご主人様の分まで召し上がられデザート味の柿の味比べなどして盛り上がりました。

天龍寺・竹林を歩き落柿舎・常寂光寺を散策し、紅葉を楽しみ、夜にはクリスマスツリー・京都タワー景観散策。伊勢丹側や京都タワーを眺められ、20年ぶりの京都の変化を感慨深げに「また京都にきます」とおっしゃられ、涙。

車内では時折、見える紅葉の景色に、京都の出来事を写真を見ながら振り返り、たくさんの余韻を残されつつも「次は桜の時期にまた京都へ来たい」と楽しみを予感される笑みが印象的でした。

●尼壽トラベルヘルパーのスマイルレポート（写真左）

「ご主人様の愛情溢れる奥様への思いに、心から感謝の気持ちで涙を流される奥様は氣遣いと優しさに満ちた方で、感動深く言葉でも一生懸命表現され、お互いが確認し合う仕事に何度も出会い夫婦愛を常に感じるお二人でした。」



トラベルヘルパーとおでかけ日和

結婚式。嬉しいお礼のお手紙

お孫さんである新婦様からの「依頼で、結婚式におばあさまをご招待するためトラベルヘルパーをご利用いただきました。」

結婚式の後、お客様から、あ・える倶楽部あてにとても心あたたまる嬉しいお便りをいただきましたので一部ご紹介させていただきます。

先日は私の結婚披露宴に祖母二人をお世話していただきまことにありがとうございました。

電話やメールで丁寧に対応して下さり、私の注文を細かく聞き入れて下さり、私は安心して衣装を身につけることができました。

認知症のある祖母には結婚式を理解できるか不安もありましたが、トラベルヘルパーのケアのおかげで、入場と同時に手を伸ばし涙を浮かべて私たちを迎えてくれる祖母を見るのができました。

高齢の祖母二人を、遠い会場まで連れて長時間式に参加させることは、私のエゴだったのかもしれないが、認知症でも、ほんの一瞬でも、孫の結婚という祖母にとっては嬉しいであろう出来事をかみしめてほしかったのです。

施設に戻り疲れた様子の祖母でしたが、「孫の着物は赤だった」とか

「本当に嬉しかった」などの声が聞けたそうです。

結婚式という機会にはもうありませんが、祖母孝行の際にはまたお世話になりたいと考えています。



お客様の快諾を得て掲載させていただきました。

本当に、ありがとうございました。末永くご家族仲良く、お幸せに！

●半田トラベルヘルパーのスマイルレポート（写真左）

親族控え室に向かうとおばあさまのおめかしした姿にお子さんやお孫さんらびっくり。施設の方が上手

にお化粧と着替え、マニキュアまで可愛く用意してくださったとの事。人前式で新郎新婦入場時、右手を懸命に振り、目の前に花嫁のお孫さんが来た時には涙が溢れていらっしやいました。

良かったですねと声掛けするとうん、うんと頷かれていらっしやいました。

「自身のお子さん、お孫さんらに囲まれて幸せそうな笑顔での披露宴でした。」

次男さまが母が大好きなものと「おいなりさん」を差し入れてくださいました。沢山の御馳走が目の前にあるのですが、これには目がないとパクリパクリとあつという間に3個平らげてしまわれ、大好きなコーラもご自身でゴクゴクと美味しそうに飲み込みも上手に召し上がってました。

花嫁のお孫さんも「えーっ、おばあちゃんおいなりさん食べてるの?」と笑っていらっしやいました。

披露宴も終盤：花嫁さんのお手紙「天国の両親へ」と涙ぐむ姿に「あれはいい親だった」とポツリ。じつと手紙を読む孫娘を見守っていらっ

しゃいました。その横顔に目が熱くなりました。



ツアー集合場所まで トラベルヘルパーと

急ぎよ、船旅に出られるのにご自宅から乗船までのお送りにトラベルヘルパーをご利用いただきまし

た。「ご自宅を出る際に忘れ物がな
いか」「ターミナルに着いてから乗
り場までは広い施設内をスムーズ
に行けるのか?」そんなちよつとし
た不安があるなら、トラベルヘルパ
ーを同行させておまかせ!そんな
ふう気軽に利用してくれるのが
うれしいですね。

トラベルヘルパーは、お客様仕様
で様々なことにご利用いただけま
す。
まずは小さなことでも、外出の不
安や不便をご相談くださいませ!



●森トラベルヘルパーのスマイル
レポート(写真右)

清水港行き二泊三日の飛鳥クル
ーズにご乗船されるM様。

荷物が多いので、初めは都内から
タクシー利用をお考えでしたが、移
動距離と待機時間が長く一人では辛
い……。とのことで、電車を乗り
継ぎご自宅からお見送りまでトラベ
ルヘルパーが同行いたしました。
「一度、船旅を経験したらクセにな
るよ。昨晩は楽しみで眠られなかつ
た。」「一人寂しく行くこうと思っ

いたから、一緒に来てくれてありが
たい!」と終始ご機嫌のご様子。
ランチをしながら、これまでの「
旅行のこと、若かりし頃の恋のハナ
シ、ご家族のこと・・・楽しいお話
は尽きることなく、長い待ち時間も
あっという間に過ぎました。
「まだまだ楽しみたいから、あと十
年は元気で長生きしないと!」と、
颯爽と船の中へ消えていきました。
お氣をつけていってらっしゃい!



★編集後記★

今年も一年、たくさん感動のご
旅行と、その中の最高の笑顔の時間
にご一緒させていただくことができ
ました。来年も一層、皆様「嬉し
い」と感じてくださる旅行ができる
よう、頑張っていきたいと思ひます。

トラベルヘルパー
(外出支援専門員)®は
介護の技術と
旅の知識を学んだ
介護旅行のプロです。

介護旅行のご用命・お問い合わせは...

www.aelclub.com

株式会社SPI

あ・える倶楽部

A'EL
あ・える倶楽部
【介護旅行】



03-6415-6480



03-6415-6488

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-13 トップヒル10F

「にこにこ新聞」に掲載されている全ての画像・文章・情報等は著作権により保護されております。著作権者の許
可なく内容の全て又は一部をいかなる手段においても複製・転載・流用・転売・複写等することを固く禁じます。